

『自分らしく生きて見ませんか！』

カルタの一部を紹介します。



そ 育てよう、パートナーシップのいい関係

「互恵・共生社会」とは、すべての人々が、個性と能力を生かして、共に認め合い、支え合い、生きがいと働きがいを持って、共生していく地域社会です。

その実現には、市民、市民活動を行うもの、事業者、市、と共に、男と女のパートナーシップの形成が不可欠といえます。地域、家庭の中でパートナーシップによるいい関係づくりに努めましょう。



さ さわやかに楽しい老後にするために本気になってまちづくり

地域で高齢者を見守り、青少年の健全な成長を支援するなど、地域社会が持つ相互扶助機能に対する期待が高まっております。このため、身近な地域課題に市民が主体的に参加し、相互の交流を深めるなど、コミュニティ意識の高揚に努めるとともに、市民の手によるコミュニティ活動の活性化が不可欠となります。市民、市民活動を行うもの、事業者、市、また、男と女のパートナーシップにより、共に考え、共に行動し、共に創る協働のまちづくりを推進しましょう。



す 素敵に生きたいこの人生、共に求めてボランティア参加

ボランティア活動は、地域に暮らす人々が社会の一員として自分たちの意思で、時間、技術、経験などを地域社会に提供し合うことによって、様々なことを学び、経験し、助け合い、喜びや悲しみを分かち合い、共に生きる活力ある地域社会をつくっていくこととなります。また、個人やグループにとっては、活動することの喜び、楽しさなどが実感でき、それぞれの活動を通して、多様・多彩な地域社会づくりにもつながる活動です。勇気を持って、最初の一歩を踏み出しましょう。

Q&A 国民年金

「年金受給者に対する不審な電話に注意してください」

年金受給者に対し、社会保険庁の名称や年金相互管理センターなどの架空団体名を名乗り、詐欺行為やデータ収集をされたという被害が出ています。

福井県内では、9月22日頃から年金受給者に対して下記のような事例が発生しました。

事例①

「年金の払い過ぎがあるので、至急返納しなさい。返納できない場合、次回以降の年金を停止する。」という電話があり、指定の口座に102,000円を振り込んでしまった。

事例②

年金受給者の女性の長男が「年金の過払いがあるので送金するように」との電話を受け、3回に分けて729,000円を振り込んでしまった。

社会保険庁や社会保険事務所では、電話で過払い金の返納など現金振込の連絡をすることはありません。

電話以外にも、訪問や手紙で行われるケースがあります。このような不審電話などがありましたら、直ちにお近くの社会保険事務所などにお問い合わせください。

問合せ先 山梨社会保険事務局 大月事務所
☎(22)3811